



静岡の茶草場

CHAGUSABA

あの場所へ

心やわらぐ

頬がゆるみ

世界農業遺産を旅しよう。

#01

美景と茶を楽しむ旅

Set your travel destination to Kakegawa city.
Find plenty of reasons why in this quarterly brochure.

茶畑の上の
大きな空を
風が通り抜けていく





そうだ、旅に出よう

窓の外を眺めていたら、ふと、旅に出たくなった。思いつきの旅なので、混雑する観光地より、気軽に出向ける場所に行きたい。日常の近くであって、いつもとちがう何かに出逢える場所に。

そうしてバッグ片手に訪れたのは、掛川市東山周辺にある茶草場。うねる山々を包み込むように広がる、壮麗な茶園が美しい。外国人に言わせれば、これぞ「ジャパニーズ・クール！」と

なるのだろう。何しろここは、地球上で40ヶ所に満たない、世界農業遺産の一つなのだから。

東山を訪れたらまず、地元民が運営する「東山いっぶく処」に寄るといい。世界に認められた理由や見どころを、愛嬌のある店員が丁寧に教えてくれる。店内には、土産物にちょうどいい、名産の茶や新鮮な野菜、手作り品が並ぶ。

ところで、この地に小高くそびえる



あわがたけ
栗ヶ岳には、京都の大文字送り火を連想させる、一辺130メートルの巨大な「茶」の一字が木で描かれている。聞くと、百年ほど前地元の茶農家たちによって作られた、お茶とともに生きる決意表明だとか。その単純な理由で、この大掛かりな作業をやったのけるのだから、純真で、なんだかチャーミングだ。きっと何事にも真っ直ぐだったのだろう。そんな人たちの作ったお茶は、おいしかったに違いない。

そして一世紀が過ぎ、今も変わらず東山の人々はお茶を作り続けている。昔からの農法で、誠実に。ひたむきに。受け継がれてきた「おいしいお茶を作ろう」という思いは実り、日本一に値する農林水産大臣賞を何度も受賞した。

一連の話を聞きながら、いっぶん処でふるまわれたお茶をいただき、土産を買った。車でも登れる栗ヶ岳山頂からの眺めは絶景らしい。ささやかな旅に、すてきな思い出が一つ増えそうだ。

HAVE FUN HIGASHIYAMA!



知るほど楽しい、 東山の魅力

絶景のビューポイント



東山周辺には、栗ヶ岳以外にも絶景を眺める「ビューポイント」が3か所点在している。場所は「東山いっぽく処」で確認することができ、東山地区の貴重な草地性植物を間近に体感できる。

山頂からの美眺と神秘の森



車でも登れる栗ヶ岳の山頂からは、茶園と自然が織りなす美景を眺望できる。山頂には神が降り立たと云われる巨石群「磐座」と、県の天然記念物である、大木が生い茂る神秘的な原生林の森が広がっている。

その美味しさを、未来へ

芳醇な香りと、心地よい余韻を残す深い味わい。世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場農法」でつくられたお茶は、日本一に値する農林水産大臣賞をはじめ、さまざまな賞を受賞している銘茶揃いだ。この素晴らしいお茶を買って味わうことは、貴重な農法を未来に残すことにもつながる。通常よりひと手間かかる茶草場農法。香り高いお茶をたくさん味わって、日本の誇りを後世に残そう。



世界に一つだけのお茶



世界農業遺産「静岡の茶草場農法」

東山周辺に根付く世界農業遺産「静岡の茶草場農法」。その魅力が詳しく紹介されているパンフレットが「東山いっぶく処」はじめ各所で配布されている。ぜひ手に取って、環境と人々の暮らしが調和する農法を、茶畑を見ながら体感してみたい。



その景色は、その匂いは、ずっと
五感をすりぬけて、みずみずしい
潤いを心に与えてくれる。
あたりまえの命のいとなみ。それを
守ってきた、あたりまえの農作業。
地元の年配者は言った。
「まあ、子どものころと、たいして
景色は変わってないな」
未来の子どもたちにも、この景色
を、このすばらしさを、伝えてあげ
たい。見せてあげたい。
日本の誇り。茶草場。
ここは世界に一つだけの場所。

ここは世界に
ひとつだけの場所

静岡の茶草場

CHAGUSABA 

世界農業遺産 | 静岡の茶草場農法